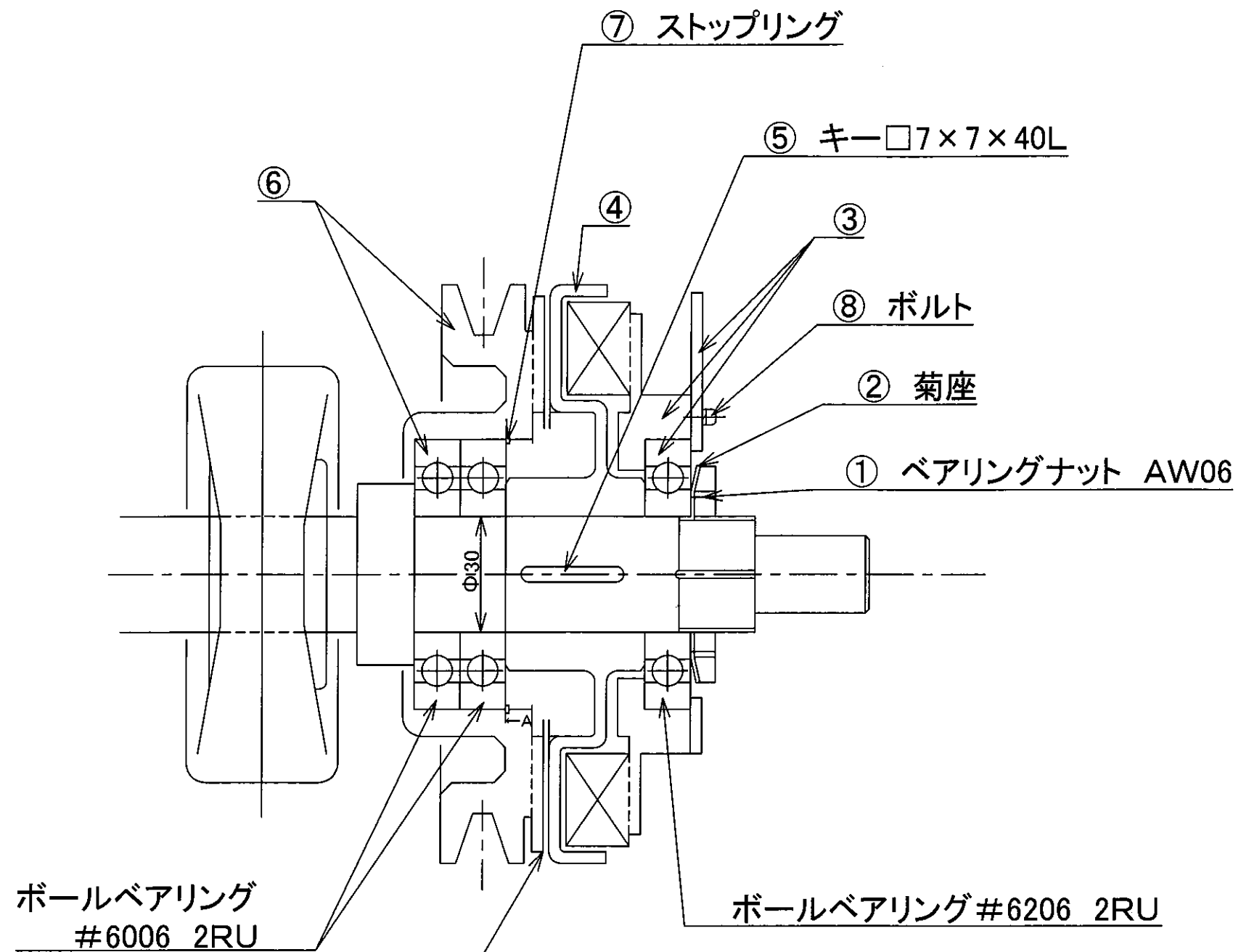


電磁クラッチ取外し要領図

対象機種

Pina



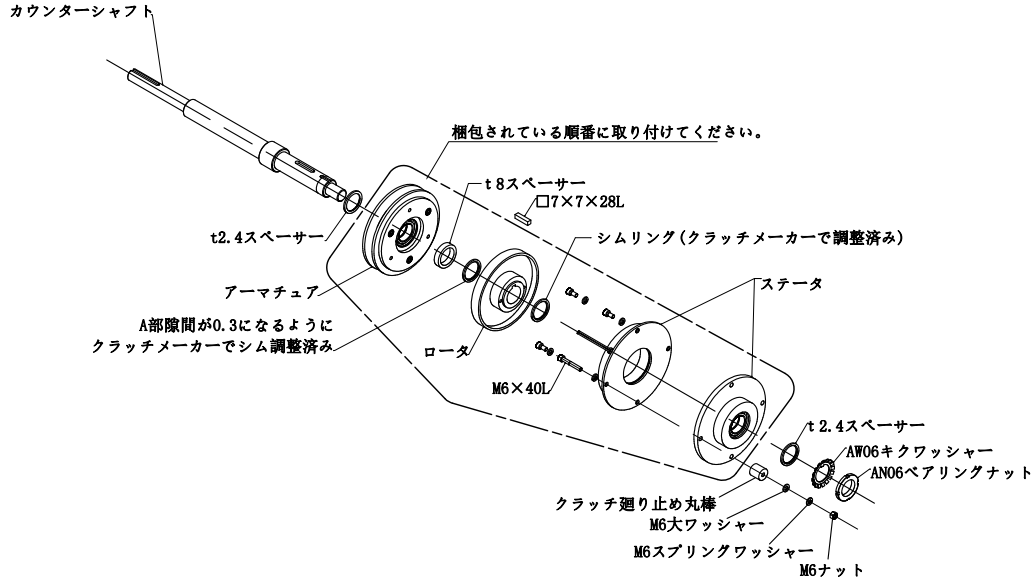
①～⑥はカウンター軸からの取外し順序を示す。

電磁クラッチ交換時には0.2～0.3mmの隙間をあけて下さい。
0.1mmのシムを通常2～3枚使用。
セット場所はA部

電磁クラッチ取外し要領図

三木電磁クラッチ部分解剖図

PINA



神鋼製電磁クラッチから三木電磁クラッチへの交換

1. 神鋼製電磁クラッチ取外し手順

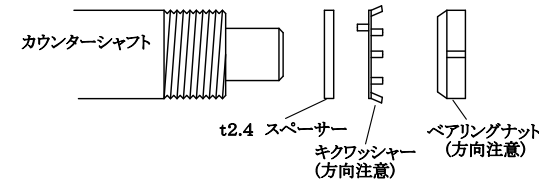
※ 安全の為、作業前にバッテリーのマイナス端子を外して下さい。

- ① FRPボディーカバー(サイド・リア・ベルト)を取り外す。
- ② ベルト(3V300)を張るテンションを緩め、カウンタープーリーよりベルトを外す。
- ③ ベルト(B48)を張るテンションを緩め、各プーリーからベルトを外しておく。
- ④ クラッチステータ部より出る配線、⊕線・⊖線(バッテリーコード⊖線と共締め)を外す。
- ⑤ ピローブロックUCP204を止めているボルト2ヶ所を緩め取り外す。
※ ピローブロックの取り付け位置(フレーム側)に、上下げがき線を入れておく事！
組み付けの際、同じ位置に締め付ける為。
- ⑥ ベルト(B48)をカウンターシャフトより外し、抜き取る。
- ⑦ ASPFL204を止めているボルト・ナット2ヶ所、緩め取り外す。
- ⑧ カウンターシャフトASSYを本機より外す。
※ カウンターシャフトASSYを下ろす際、下側に燃料ホースが通っている為注意して下さい。
- ⑨ カウンターシャフトASSYのシャフト部を万力等で挟み固定し、ASPFL204のホロセットボルト2ヶ所を緩めプーリー抜き等で外していく。
- ⑩ ベアリングナットを外します。(ベアリングナットは右ネジです)
※ ベアリングナットは、キクワッシャーのツメで廻り止めをしてあります。マイナスドライバーでツメを起しナットを緩めます。
- ⑪ プーリー抜き等でクラッチ部を順番に外していく。

2. 三木電磁クラッチの取付

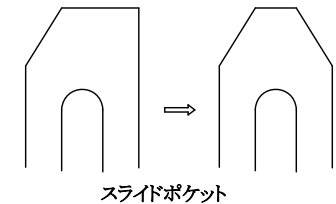
※ シム等寸法精度のかかかわる細かな部品が組み合わさっている為、作業手順にそって取り付けて下さい。

- ① シャフト部にグリスを塗る
- ② t2.4 スペーサー を入れる
- ③ アーマチュア を入れる
- ④ t8 スペーサー を入れる
- ⑤ シムリング を入れる
※ メーカーにより隙間調整をしてあります。付いていた枚数を入れて下さい。
- ⑥ □7×7×28L キー 取り付ける
- ⑦ ローター を入れる
- ⑧ シムリング を入れる
- ⑨ ステータ を入れる
- ⑩ t2.4 スペーサー を入れる
- ⑪ キクワッシャー を入れる
※ 入れる向きに注意！カウンターシャフトの溝へ廻り止めのツメを合わせて組み込む。
- ⑫ ベアリングナット を入れ締め付ける。
※ 入れる向きに注意！マイナスドライバーで締め付け。
キクワッシャーのツメ位置を合わせ、ツメを1カ所折り込む。



※ スライドポケットが三木電磁クラッチと接触する為、サンダー等で切り落とす作業が必要になります。(切り落とし寸法は、別紙参照)

- (1) 本機よりスライドポケットを外す。(ボルト2本)
- (2) テンションプーリーをスライドポケットから外す。
- (3) スライドポケットを加工し本機に組み付けし、テンションプーリーを取り付ける。



- ⑬ ASPFL204をフレームの穴の中央に位置出し、取り付ける。
- ⑭ ベルト(B48)をカウンターシャフトASSYに通した状態で本機に取り付ける。
※ カウンターシャフトを本機に組み込む際、フレーム側と廻り止め丸棒の位置を合わせてASPFL204へシャフトを入れていく。
- ⑮ カウンターシャフトの寸出法、位置を確認して本締めをしホロセットボルトを締め付ける。
- ⑯ 配線端子⊕線、⊖線(バッテリーコード⊖線と共締め)を取り付ける。
- ⑰ ベルトB48と3V300を取り付け張る。
- ⑱ バッテリーの-端子を繋ぎ試運転をし、FRPボディーカバーを取り付ける。

